

# 寺報

No.585

平成28年5月

蓮華寺  
發行

## 御聖訓

口決くけつに云いはく、「草くさにも木きにも成なる  
佛ほとけなり、この意こころは草木そうもくに成なり給たまへる  
壽量じゆりやう品の積尊しゃくそんなり。

『草木成佛口決』



### (解 説)

雨あめは草木くさきの大小たうきに關係かへんなく、降り注ふりついでできますが  
草木くさきは自らの力ちからに依よじて水分すいぶんを吸収きうしゆします。

大木たいもくは大木たいもくなりに、雑草ざくそうは雑草ざくそうなりに、それぞれの  
能力のうりきや性質しやうしやうによつて水分すいぶんを蓄たくわえ成長せいしやうするのです。

同じ様おなひように、人間にんげんにも互たがひいに違ちがつた能力のうりきや体格ていかくや性格せいかく  
があり、また生き方も様々さまざまなのです。

皆様みなさまの中なかにも、生活せいかつ・習慣しゆかん・おしゃれ・進学しんがくなど全  
ての面おもてで、流行りやうに乗り遅おそれてはいけないう事ことで

「あの人ひとがこうしたから、私もわたしもこうしなければなら  
ない、あの人ひとがあれば出来できたから、私もわたしも出来できなければなら  
ばならない。」

と、常に人ひとと同じおなひでなければ、気がきがすまないと  
人がひといます。

しかし、それがうまくいかない時には、そこに妬ねたみ  
怨うらみなどが生うまじ、悲惨ひつぱんな事件じけんが起きてくるのです。

『法華經ほふくわきやう』は平等びやうどう大慧たいゑの教えです。

お釈迦しやくか様の慈悲じひの雨あめは、我々われわれに常に平等びやうどうに降り注ふりつが  
れています。

いかに受け取るかは、我々人間われわれにんげんの心こころによるのです。

五月十三日(金)

午後一時より

於..大本堂

# 会 誕 降 御 尊 釈 (花まつり)



- \* お釈迦様のお誕生日、甘茶の日です。
- \* 皆様で、甘茶をかけお祝いしましょう。
- \* お供物も受け付けています。

## お釈迦様のお名前は？

幼少より聡明で哲学的瞑想を好んだお釈迦様は、姓をゴータマ、名をシッダールタといたしました。ゴータマは「最良の牛」という意味で、牛を神聖視するインドらしいお名前であり、一方シッダールタというのは「願いを成就した人・目的に達した人」という意味で、まさに生まれながらにお釈迦様にふさわしいお名前だったといえましょう。

しかしご存知の様に、お釈迦様の呼び方には、この他たくさん呼び方がありまして、皆様も混乱してしまうのではないかと思います。

【お釈迦様】【釈迦牟尼】【釈尊】【仏陀】【世尊】【釈迦如来】などです。

【お釈迦様】【釈迦牟尼】のシャカは、生まれました部族のお名前、原語ではシャーカーヤ族といわれています。

お釈迦様はこの部族の太子であつた為に、こう呼ばれたのです。

ただし、偉大なる方を呼び捨てに出来ない、尊敬の念を込めまして【お釈迦様】、またインドの聖人の

## 龍神様

古来より、『龍神様』は我々人間にとって不可欠な水をつかさどり、そして大地にうるおいをもたらす豊穡の神として崇められてきました。

そのお姿は、水の象徴であります川が蛇の様に曲がりくねって行く、いわゆる蛇行から想像されたものと思われまます。

つまり火を封じ、我々や建物などを火難から守つてくれます神様としても、重要な役目をしてきたのです。当山にお祀りされています『龍神様』も、昭和二十年の青森大空襲の際、その数日前から突然池の水があふれ出すという不思議な現象を起し、ついにはその水が蓮華寺の大本堂はじめ庫裡を救うという奇跡をもたらしたのでした。

しかし、『龍神様』もそのお力が偉大な為に、一旦おろそかに扱いますと、容赦なく大洪水をもたらし、自然を破壊してしまうという恐い面も備えています。ですから、常に『龍神様』は大事にお祀りし、そのお力を戴いていかなければならないのです。

意味を表わす牟尼を付け【釈迦牟尼】と呼ばれたのです。

しかし、お釈迦様の一生を通じましての最大の出来事は、悟りを得て『仏』となった事でありまます。

仏になった方に対して、世俗的な個人名で呼ぶのは失礼に当りますので、当時の人々は悟りを得た人を【仏陀】と呼んだのでした。

更に、仏の尊称のひとつであります【世尊】とか、同じく「悟りを得、我々衆生を救済する為にこの世に來た人」の意味を持つ【如来】を付けて、【釈迦如来】とも呼びました。

お釈迦様自身は、自分の事を「如来」と呼ぶ事が多かったと伝えられていますが、日蓮大聖人の書かれた御遺文を見ましても、その時その時によって呼び方が色々異なっていました、定まっていた様です。

日蓮宗のお坊さんがご回向する時は『南無釈迦牟尼仏』と良くいますが、檀信徒の皆様は、日頃から親しみを込めまして呼んでいます『お釈迦様』が一番最適な呼び方ではないかと思われまます。

第五十八回蓮華寺聖徒団定時總會

『県内寺院参拝と懇親会』のお知らせ

今年度の蓮華寺聖徒団・定時總會の日程が決定しましたので、此処にお知らせ致します。

今年は、むつ市にあります「龍本寺」(齊藤琢明住職)を参拝し、ご開帳・總會を開催致します。

その後、同市の『むつグランドホテル』に会場を移し昼食と慰労を兼ねました懇親会を行います。

「龍本寺」は昭和二十一年に寺号を公称し、弘前取上刑場に安置されていた日蓮大聖人像が奉安されているというお寺で、今回は二度目の参拝となります。

是非この機会を逃さず、沢山の皆様のご参加をお願い致します。

皆様も、なかなか行けない県内の日蓮宗のお寺を一緒に参拝しましょう。

なお、会員以外の皆様のご参加も自由ですので、ごんどんお申込み下さい。

参加ご希望の方は、申込み用紙に記入の上、参加費を添えまして、事務所までお申込み下さい。

總會の日程

日 時：六月二十六日(日)

集 合：蓮華寺・午前八時【時間厳守】

バ ス：出 発：午前八時半

帰 着：午後五時頃予定

場 所：總會・龍本寺(むつ市)

懇親会・『むつグランドホテル』

費 用：大人 五、〇〇〇円

子 供 三、〇〇〇円(小学生まで)

②ご開帳料、入館料、昼食代、交通費等を含む。

募 集：九十名(受付中)

持参品：数珠、聖徒団のタスキ、霊神符【お守り】

注意事項

一、龍本寺での供養・祈願をご希望の方は、当日の朝受付します。

\*供養・祈願・・・各五百円

一、参加者は、必ず霊神符【お守り】を着体してきて下さい。

一、参加者は、全員聖徒団のタスキを使いますのでこの機会にお求め下さい。

\*聖徒団のタスキ・・・三千元(事務所迄)

檀信徒研修会のお知らせ  
五月二十八日(土)  
聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

\*『聖典の読誦(三十分)』と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時 間：午後七時より

場 所：小本堂(お通夜の場合変更)

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

\*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張つて参加して下さい。

②足の悪い方は、イスや安座にてお経・お題目を唱えて結構です。

☆靈 断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。

☎776-5840  
【相談料は原則として三千元となります】

『位牌壇』の募集!

\*お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖様や仏様が今後代々に渡り守られていきます。

\*ご命日の時、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ、『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げ致します。

\*青森では冬期間お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと常にお参りが出来ます。

\*分割の場合は三年間の内に、回数をご相談下さい。

\*下から上席に上がるには、差額を納めて戴きます。

\*ご親戚やご友人に譲渡の場合は、必ずお寺にご連絡下さい。

『聖徒団会員』の募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

### 『水子さん』のご供養

仏教では年令を用いる時には必ず「数え年」を使いますが、これは我々が仏様より命を戴いて、お母さんのおなかの中に宿った時からの年を数えるという意味です。

いかに、お釈迦様が命の大切さ、命の尊さを大事に説かれたかがお分かりになると思います。ですから、仏様から戴いた尊い生命を親の意志で断つという事は、決して許されないので。

もしその子の前後に兄弟があり、両親に愛情一杯に育てられたとしたら、同じ命をもらいながら日の目を見られなかった子供達は、余りにもかわいそうではないでしょうか。

当山では、この世に生を受ける事なく仏様の世界に旅立ちました水子さん、また早くに亡くなられた子供さんのご供養の為に境内に観音像が安置されています。この観音像の台座の中には、施主の名前を書き入れました「法名紙」が奉納出来ます。

各自、水子・子供の【戒名】【俗名】、また【水子一切

の霊】などを書き入れてもらい、奉納して下さい。

☆本堂で法要を行いご供養した後、「法名紙」を観音像に奉納する場合。 (二万円)

☆直接観音像の前でご供養し、「法名紙」を奉納する場合。 (二万円)

(ご本人が立ち会えない時は、お寺の方で読経後に奉納します)

更に『水子観音像』専用の「風車」も用意しています。風車は一体(七百元)で、葉の部分にお名前と供養文が書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。

どうか檀信徒の皆様も、生きている子供達と同様に、去くなられた子供達にも精一杯の愛情を注がれるようお願いいたします。



### 五月の行事

一日(日) 盛運祈願会 午後一時より

・毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。

・必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱えてから新しいお守りに交換しましょう。

・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(金) 日蓮大聖人のご報恩会 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)

如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)

・どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

十三日(金) 釈尊降誕会【花まつり】 午後一時より

十九日(木) 龍神様・七面様大祭 午後一時より

二十八日(土) 檀信徒研修会【唱題行】 午後七時より

### ☆奉仕のお知らせ

十三日(金) 花まつりの準備とお手伝い

◎男女共・・・午前十一時より

※『花まつり』の行事は、本堂で十三日講のお勤めの中で執り行われています。

どうぞ、ご参拝かたがたお手伝いをよろしくお願い致します。

十九日(木) 龍神様・七面様大祭の準備とお手伝い

◎男女共・・・午前十時より

\*当山客殿に於きまして、祭壇を設けて、行事を執り行っていますので、お手伝いをよろしくお願い致します。

奉仕部長・山田兼補 教宣部長・杉淵昌三  
伝道部長・小野正春

### ☆十三日のお勤めに参拝しましょう!

毎月十三日 午後一時より

⑧『十三日のお勤め』の「カセットテープ・CD・お経本」を事務所にて販売しています。

# 龍神様・七面様大祭

五月十九日 (木)

午後一時より

於：蓮華寺客殿



七面天女



- \* 龍神様・七面様の御神体、掛軸の御法楽 (二千元)
- \* 一般御法楽 (千円)、祈願 (八百円)
- \* 御神酒、お供物も受け付けています。
- \* 祈願・御法楽をお申込みの方にお札を差上げます。